

秋の火災予防運動 11月9日～15日

全国统一防火標語【消すまでは 出ない行かない 離れない】

〒 富士見町消防署 予防係 ☎61-0119

今年も全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。この運動は火災の発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、貴重な財産を火災から守ることを目的としています。火災発生を防止するためにも次のポイントに気をつけましょう。

【住宅防火 いのちを守る 7つのポイント】～3つの習慣・4つの対策～

★3つの習慣

- ①寝たばこは絶対にやめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

★4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災が小さいうちに対応できるよう、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



皆さんのご家庭には住宅用消火器、住宅用火災警報器は設置されていますか。どちらも火災発生を防止するためには大変有効なものです。昨年の調査で町内においては、住宅用火災警報器の設置率が65%となっています。まだ設置していないご家庭は、早めに設置しましょう。また消火器は、いざという時使用できないことがないように、容器に破損等はないか、中の薬剤は固まっていないか、などの点検を行きましょう。

日頃から、自主防災組織等を含めた隣近所の協力体制を作り、地域住民が一体となり、火災予防に努めましょう。

姉妹町 西伊豆だより

富士見・西伊豆両町の「絆」を再確認 — 町民友好のバス&スポーツ少年団サッカー交流 —

「富士見町の皆さん、西伊豆町へようこそいらっしゃいました！」
9月27日(木)から30日(日)にかけて、姉妹町交流事業の一環として、二つの事業が行われました。

「町民友好のバス」では、富士見町民の方27人が西伊豆を訪れ、伊豆半島ジオパークの一つである堂ヶ島周辺の島々を遊覧船でクルージング。西伊豆ならではの体験に、心を躍らせた方もいたようです。伝統ある日本の保存食「鰹節」の製造工場見学の際には、昔ながらの「かつお節削り」を体験。



▲気温30度を超えるなか、汗をかきながらの「かつお節削り体験」



▲懸命にボールを競り合う両町の選手

削った分は、おみやげになり、ご家族の皆さんとともに「西伊豆の味」を楽しんでいただけたことと思います。

「スポーツ少年団サッカー交流」

では、仁科小学校グラウンドで、富士見サッカースポーツ少年団の小学6年生と松風スポーツ少年団の小学4、5年生が対戦。お互いの力を出し合い、サッカーを通じて友好関係を深めました。

これらの事業に限らず、町内のあらゆる人々が、富士見町の皆さんと関わりを持っています。この「絆」が、いつまでも太く長く続くことを心から願います。

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。 — 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。 — 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。